令和４年度　　（宮城県立金成支援）学校の研究概要　～令和５年１月末現在～

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　運営委員氏名（　　平野　史代　　）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究テーマ | 「児童生徒の思考力の育成を目指した指導の工夫」～授業実践におけるICT活用方法の探究を通して～ |
| 研究目標 | ＩＣＴの活用方法について整理し，様々な指導の形態でＩＣＴを用いた授業実践を行う中で児童生徒の思考力を育むためのＩＣＴ活用の方法を発達段階ごとに探る。 |
| 研究内容・方法研究計画等 | ＜令和４年度（１年次）＞※令和４年度～６年度（３年計画）（１）研修会の開催　　①学習指導要領におけるICTの取り扱いについて　　②児童生徒の思考力の育成について　　③ICTを活用した授業改善について（２）本校で行われているICT活用の分類と提供　　①ワークショップでの情報共有　　　　②学部ごとの実践事例の発表会　　③ICTを活用した授業実践について実践事例集の作成＜令和５・６年度（２～３年次）＞（１）今年度の取組を生かした，ICTを活用した授業実践（２）ICTを活用した授業実践について実践事例集の作成 |
| 研究の概要・研究経過・研究成果等 | 〇研究経過（各番号は研究内容・方法に対応）＜6月＞・文部科学省公開動画「特別支援教育におけるICTの活用について」視聴。（１）－①　・「思考力の育成」の視点で，児童生徒の実態把握のためワークショップを開催。　　（１）－②，（２）－①＜7月＞・宮城県総合教育センター「指導主事派遣事業」を活用し，遠藤指導主事に「特別　支援学校における思考力の育成について」御講義いただいた。（１）－②＜８月＞・本校情報教育部長による，ICTを活用した授業改善研修会の開催。１回目：拡大提示の方法や活用例，操作方法について。アプリ紹介。（１）－③＜11月＞・知障専研究協議会講義「知的障害教育の授業づくり」の伝講会。（１）－②・ICTを活用した授業の実践事例発表会の開催。（２）－②＜12月＞　・本校情報教育部長による，ICTを活用した授業改善研修会の開催。２回目：プログラミング体験（１）－③〇研究成果　・教職員間で特別支援教育におけるICT活用の意義について共通理解が進み，ICTを活用した授業改善も多く見られるようになった。　・教室での授業だけではなく，学校行事などでICTが活用される場面が増え，説明や発表などもICTを活用して行ったため，生徒が集中して活動に取り組むことができている。　・ワークショップの開催で，実態把握だけでなく，生徒に考えさせるための手立てについても意見を交わし合えたことで，共通理解の下，意図的に「考えさせる場面」を授業に盛り込むことができた。　・「みやぎ授業づくりガイド」の活用で，目標と評価設定の視点について理解を深めることができた。特に「思考力」の評価基準や目標設定の考え方が参考になり，取り入れるポイントや表記例を確認することで，思考力育成のイメージを持つことができた。 |